

全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権

金沢学院が女子団体V

3階級を制覇、圧勝

金沢学院大学ウエイトリフティング部は12月23日と24日、横浜市の磯子スポーツセンターで開かれた全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権に参加し、女子団体が初優勝しました。創部3年目の快挙で、男子団体も6位に入る健闘を見せました。



応援団に笑顔を見せるウエイトリフティング女子団体の選手 = 横浜市（北國新聞社提供）

男子団体は6位

69^{kg}級で橋田麻由（3年）、75^{kg}級で谷綾野（同）、75^{kg}超級で嶋本麻美（2年）の三選手が優勝し、53^{kg}級で竹下菜緒（同）、63^{kg}級で菊田泰子（1年）の両選手が準優勝して得点を重ね、2位の平成国際大学（埼玉）に13点の大差をつけて圧勝しました。

昨年は1点差で優勝を逃し、悔しい思いをしただけに、今年の優勝には選手たちもひとしおの思いが募ったようで、校歌を歌う選手

学生募集が最重要

飛田理事長が年頭訓示



年頭の訓示を行う飛田理事長 〓 4号館講堂

学校法人金沢学院の平成二十年仕事始め式は一月八日、4号館講堂で行われ、飛田秀一理事長が教職員約二百人を前に年頭の訓示を行いました。

飛田理事長は、高校新卒数の減少で厳しさを増す学生募集が、全教職員にとつ

て最重要の課題であることの肝に銘ずるよう指示し、今年の方針と施策を挙げました。

基本方針として入試制度改革、大学院の充実に基づく学生募集の強化、短大認証評価に向けての準備などを示しました。新しい施策では、大学の教学組織の活性化策、新校舎完成に合わせた東高校の改善や生徒募集の強化策に触れました。

たちは喜びの涙を流しました。

ウエイトリフティング部の女子部員は12月25日、石田寛人学長と上山副理事長

金沢学院大演劇部 公演「星に願いを」

金沢大学と合同で

金沢学院大学と金沢大学の演劇部合同公演「星に願いを」は十二月十六日、十六日に行われました。物語は、駆け出しの落語家が盗作したために破門になり、東京・下町のリサイクル工場に転がり込んで繰り広げる人間模様をコミカルに描いたものです。写真下。



観客は、笑いにあふれ、少し感傷的にもなる演出の舞台を楽しみました。

に優勝を報告して祝福を受けるとともに、インカレ連覇、北京五輪の出場に向けて、さらに精進することを誓いました。

組織的な取り組み必要

授業改善テーマにFD研修



金沢学院大学・短期大学のFD研修会は十二月十九日、4号館講堂で行われました。岡島厚短大長補佐「写真右」が「FD活動、授業改善システム」の演題で、来年四月からの授業

内容等の改善のための組織的取り組みの義務化に向けて、教育方法の改善活動の必要性と方法などについて話しました。

岡島学長補佐は、前任の金沢大学での取り組みなども交えて紹介しながら、授業内容の方法を改善するには、組織的な取り組みが必要である。教員個人にとどまらず、教員全体の資質開発とすべきである」と話しました。

理財部長特別講義

北陸財務局長の大塚雅良理財部長は十二月二十一日、金沢学院大学就職教育講座で特別講義を行い、金融機関の役割と行政の対応について話しました。大塚部長「写真左」は、戦後から高度成長、安定成長期、バブル経済の崩壊に伴う不良債権問題などで、金融機関が果たした役割や抱えた問題について説明しました。また、最近のサブプライム問題や郵政民営化などについて解説しました。



理財部長特別講義 大塚雅良氏



元巨継走57位と132位 第70回石川県耐寒継走選手権は1月1日、広坂緑地横を発着点とする3・3^{km}の金沢城周回コースで行われました。金沢学院の教職員Aチーム（桜井、望月、輝、高木、坂井）が59分1秒、Bチーム（望月、川、望月、ゆかり、島崎）が1時間9分11秒で132位でした。（写真右は参加者と応援の皆さん）

発行・広報室